

資料シリーズ No.209 正誤表

2021 年 4 月 21 日

資料シリーズ No.209「労働力需給の推計—労働力需給モデル(2018 年度版)による将来推計—」において以下のとおり誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

なお、ホームページに掲載している PDF については、訂正を反映いたしました。

正誤箇所	誤	正
20 ページ 図表 3-1 の下の※印	※労働力 <u>需要</u> ＝	労働力 <u>需給倍率</u> ＝
26 ページ 図表 3-2 の No1 の出所	3)993SNA による	3) <u>1</u> 993SNA による
29 ページ 図表 3-2 の No22 の出所	「職業安定業務統計」	「 <u>一般職業紹介状況</u> (職業安定業務統計)」
30 ページ 脚注 8	「労働者 <u>派派遣</u> 事業所の派遣社員」	「労働者 <u>派遣</u> 事業所の派遣社員」
39 ページ 図表 3-6 の表頭	<u>d</u> InZ	<u>Δ</u> InZ
40 ページ 図表 3-7 の表頭	<u>d</u> InZ	<u>Δ</u> InZ
51 ページ 図表 4-1 の⑬の日本再興戦略からの一連の戦略(計画)	20 <u>3</u> 0 年 16 兆円	20 <u>2</u> 0 年 16 兆円
71 ページ 下から 3 行目	約 4. <u>5</u> 兆円増	約 4. <u>3</u> 兆円増
73 ページ 下から 7 行目	20 <u>1</u> 9 年および 2030 年	20 <u>2</u> 0 年および 2030 年
82 ページ 1 行目	20 <u>0</u> 5 年の規模が	20 <u>2</u> 0 年の規模が
92 ページ 2 行目	ゼロ成長・労働参加 <u>漸進</u> シナリオ	ゼロ成長・労働参加 <u>現状</u> シナリオ
92 ページ 5 行目	<u>成長実現</u> ・労働参加現状シナリオ	<u>ゼロ成長</u> ・労働参加現状シナリオ
105 ページ 下から 4 行目	新たな <u>他</u> による影響が	新たな <u>技術</u> による影響が

108 ページ 図表 4-39 のタイトル	労働生産性の推移	労働生産性の <u>平均変化率</u> の推移
114 ページ 16 行目	$\bar{\alpha}_0, \alpha_t, \alpha_1$: 自動改善ファクターAのパラメータ	$\bar{\alpha}_0, \alpha_T, \alpha_1$: 自動改善ファクターAのパラメータ
114 ページ (3)式	$A = \frac{1}{1-RHt} e^{\bar{\alpha}_0 + \alpha_t T} \left(\frac{KIT}{LH} \right)^{\alpha_1}$	$A = \frac{1}{1-RHt} e^{\bar{\alpha}_0 + \alpha_T T} \left(\frac{KIT}{LH} \right)^{\alpha_1}$
115 ページ (4)式	$\frac{X}{LH} = \frac{1}{1-RHt} e^{\bar{\alpha}_0 + \alpha_t T + \varepsilon} \left(\frac{KIT}{LH} \right)^{\alpha_1} \left(\frac{K}{LH} \right)^\beta$	$\frac{X}{LH} = \frac{1}{1-RHt} e^{\bar{\alpha}_0 + \alpha_T T + \varepsilon} \left(\frac{KIT}{LH} \right)^{\alpha_1} \left(\frac{K}{LH} \right)^\beta$
115 ページ (5)式	$\ln \left(\frac{X}{LH} \right) = \ln \left(\frac{1}{1-RHt} \right) + \bar{\alpha}_0 + \alpha_t T + \varepsilon + \alpha_1 \ln \left(\frac{KIT}{LH} \right) + \beta \ln \left(\frac{K}{LH} \right)$	$\ln \left(\frac{X}{LH} \right) = \ln \left(\frac{1}{1-RHt} \right) + \bar{\alpha}_0 + \alpha_T T + \varepsilon + \alpha_1 \ln \left(\frac{KIT}{LH} \right) + \beta \ln \left(\frac{K}{LH} \right)$
116 ページ 11 行目	労働力需要関数で別途推定している $\underline{d} \ln Z$ の係数が	労働力需要関数で別途推定している $\underline{\Delta} \ln Z$ の係数が
116 ページ 下から 4 行目	次の値	次の <u>表</u> の値
121 ページ 図表 4-49 の(2)の産業計の 2030 年	<u>2.5</u>	<u>2.6</u>
128 ページ 参考文献	内閣官房・内閣府・厚生労働省 (2018)	内閣官房・内閣府・ <u>財務省</u> ・厚生労働省 (2018)